

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 2 8 年 9 月 2 1 日 ( 水 )		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	9 月 2 1 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	9 月 2 1 日 午 前 1 1 時 4 0 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員  出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	鈴木教育部長、渡部教育政策室長、栗津副参事、熊谷副参事、		
	星野学務課長、教育政策室 山根担当課長、細井学校給食課長、		
	教育総務課 諏訪村主幹、教育政策室 川和田主幹、		
	生涯学習課 石橋主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本主任		
傍 聴 人	4 人		

## 会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長

最近は、学力の向上に加え、とだっ子の部活動での活躍が目覚ましく、県内に止まらず関東・全国にも及んでいます。一方、今回の市議会でも質問が出されましたが、最近、部活動のあり方についての議論が全国的に再熱しているように思います。教員の業務負担軽減策を考える文部科学省内の会議でも、部活動が中心的な課題となっています。

実は「部活」という言葉は、広辞苑の第4版から採用されています。かつては部活動、クラブ活動、クラブなどと呼ばれていましたが、最近「ブカツ」が一般的となり、今や知らぬ人はいないと思います。

努力に努力を重ね、試合に勝ったり賞をとったりしたときの感激は、生徒はもちろん、教員にも親にも得がたい宝物となり、教育的効果は極めて高いものがあります。とはいえ様々な課題があることも事実です。

広辞苑で「部活」を引くと、用例には「部活で遅くなる」とあります。熱が入り過ぎ、つい長引くのが部活というイメージがあり、それが高じて生徒は疲れ果て、先生たちの「婚活」も「保活」もままならないとあっては、教育界は優秀な人材をどんどん逃すことにもなりかねないと思っています。

多くの部活擁護派は、「部活が生徒の健全育成に役立っている」とか「部活指導にやりがいや生きがいを感じている教員が少なくない」と熱く語ります。私自身の経験からもよく理解できます。しかし、だからといって、今までのやり方をそのまま続けるべきであるという論証やエビデンスを示したことにはなりません。部活問題は昔からの大変難しい問題で、論証まではできないまでも、課題解決に努めていかなければならないと考えています。

教 育 長

それでは、ただ今から、平成28年第10回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていた

	だいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということによろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各委員	署名
教育長	次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。本日の「報告事項③ 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について」「報告事項⑨ 市内中学校における生徒指導について」は、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件及び個人情報となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。
各委員	異議なし
教育長	それでは「報告事項③及び報告事項⑨」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	<p>はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。先月の教育委員会にて委員より御提案のあった件について報告がございます。</p> <p>① 戸田市立小中一貫型小学校・中学校設立準備状況について（鈴木委員提案）</p> <p>② 県大会以上出場のとだっ子の活躍について（土肥委員提案）</p> <p>なお、吉田委員から御提案いただきました、教職員表彰につきましては、議案としてのちほど御提案いたします。</p> <p>また、同じく吉田委員から御提案いただきました、チーム学校の進捗状況につきましては、進捗状況がまとまり次第、次回以降に御報告いたします。</p> <p>それでは、鈴木委員から御提案のありました「教育委員提案① 戸田市立小中一貫型小学校・中学校設立準備状況について」事務局より説明願います。</p>

<p>事務局</p>	<p>①戸田市立小中一貫型小学校・中学校設立準備状況について報告します。資料1ページを御覧ください。</p> <p>小中一貫校設立準備委員会の設立経過につきましては、既に御説明しておりますことから省略させていただきますが、この準備委員会は、平成33年度4月の供用開始を目指し、準備を行うため、平成28年5月30日に「戸田市立小中一貫型小学校・中学校設立準備委員会」として発足いたしました。</p> <p>準備委員会は、教育委員会、市長部局及び戸田東中学校学区の戸田東中学校、戸田東小学校、喜沢小学校で構成し、学校建設、カリキュラム編成、学校運営等、設立全般について方針案を検討します。これまでの準備委員会の開催状況は、資料のとおりです。</p> <p>また、ワーキンググループにつきましては、準備委員会の下部組織として、「学校建設」、「カリキュラム」、「学校運営」の3つのワーキンググループを設置し、各分野から調査研究・検討を進めております。これまでの各ワーキンググループの開催状況は、資料のとおりです。</p> <p>準備委員会やワーキンググループの実施と並行して、戸田東小学校・戸田東中学校の建替えに伴う地域説明会及び学校説明会を開催し、戸田東小学校及び戸田東中学校の建替えに当たり施設一体型の小中一貫校とする方針について、担当課から説明を行いました。地域説明会、学校説明会の開催状況は資料のとおりです。また、地域説明会、学校説明会でいただいた主な要望事項等は資料のとおりです。</p> <p>今後も準備委員会やワーキンググループでの検討事項について、随時情報を公開し、説明会も実施する予定でおります。</p>
<p>教育長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委員</p>	<p>設立準備委員会等について、具体的に分かりました。要望事項等、今後も説明会などでたくさん御意見をいただくとと思います。</p> <p>世帯数の多い地域ですので、複合施設が必要ではないでしょうか。将</p>

	<p>来を見据えてそのような検討をしてほしいと思います。</p>
事務局	<p>現在、設計業者が決まってこれから契約を締結します。決定した設計業者は、知見を活かし、様々なプランを出したいと話していました。要望事項等につきましては、ワーキンググループや準備委員会、教育委員会で検討したいと考えております。</p> <p>複合施設化につきましては、現在、児童生徒数が増加しており、現時点で複合施設化はできませんが、将来子供の数が減ってきた場合には、複合施設に転用できるような設計をしたいと考えております。</p>
教育長	<p>ワーキンググループでの検討内容をもう少し詳細に教えてください。</p>
事務局	<p>来月の教育委員会で御報告いたします。</p>
委員	<p>ワーキンググループや準備委員会での検討段階から進捗状況をオープンにし、保護者の不安に丁寧に答えてほしいと思います。</p>
事務局	<p>今後、決定事項だけでなく、進捗状況や検討のプロセスについてホームページで公表していく予定でおります。その際、ホームページでの公表について、保護者に通知したいと考えております。</p>
委員	<p>小中一貫校設立準備委員会は、今回の戸田東小・戸田東中の建替えるの事を検討するのか、戸田市全体の小中一貫校について検討するのか、どちらなのでしょう。位置付けを教えてください。</p>
事務局	<p>ここでいう準備委員会は、今回の戸田東小・戸田東中の建替えるの事のみ準備委員会という位置付けですが、今後、戸田市内の小・中学校の建替えが続きますので、今回の戸田東小・戸田東中の建替えが小中一貫教育を推進するリーディングケースとなるものと考えております。</p>
教育長	<p>小中一貫校と小中一貫教育の違いについて説明してください。</p>
事務局	<p>各中学校区を単位とした、小学校・中学校の9年間を見据えた小中一貫教育は以前から行っているところです。その小中一貫教育を別々の施設よりも一つの施設で実施することにより、児童生徒や教職員の連携・</p>

	<p>交流が図れるのが施設一体型の小中一貫校のメリットです。準備委員会では、今後の戸田市の小中一貫教育のあり方も見通して検討しなければならないと考えております。</p>
教 育 長	<p>建物の老朽化と教室不足により、戸田東小・戸田東中を小中一貫校として建替えを行うこととしましたが、通学区域の変更で対応することはできなかつたのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>様々なシミュレーションを行いましたが、通学区域の変更だけでは戸田東小の教室不足が解消できませんでした。また、通学区域の変更は、地域の理解を得ることが難しいと判断しました。</p>
教 育 長	<p>他に御質問等がないようですので、続きまして、土肥委員から御提案のありました「教育委員提案② 県大会以上出場のとだっ子の活躍について」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>②県大会以上出場のとだっ子の活躍について報告します。</p> <p>今年度も昨年度に続き、非常に多くの学校から児童生徒が関東大会や全国大会へ出場しております。全国大会には、全ての中学校から出場しており、各中学校での充実した取組の成果と感じております。</p> <p>昨年度途中から、全国大会等派遣補助金の交付対象を中学校の運動部活動だけでなく、小学校のクラブ活動や中学校の文化部にも広げております。</p>
教 育 長	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>素晴らしい活躍だと思います。</p>
教 育 長	<p>層の厚い吹奏楽や野球で全国大会に出場できたのは、特に素晴らしいと思います。今後も継続して活躍してほしいと思いますが、冒頭のあいさつでも申し上げましたとおり、部活動のあり方や教員の負担軽減の課題にも対応していかなければならないと感じています。</p>
教 育 長	<p>他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について</p>

	<p>申し上げます。本日は「その他」を含めまして、10件の報告がございます。</p> <p>① 平成28年第4回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問 件名・概要について</p> <p>② 中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について</p> <p>③ 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について</p> <p>④ 平成28年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について</p> <p>⑤ 英語検定3級取得推進事業について</p> <p>⑥ ゲートキーパー研修会の報告について</p> <p>⑦ 子育て講演会の開催について</p> <p>⑧ 市制施行50周年記念第26回企画展の開催について</p> <p>⑨ 市内中学校における生徒指導について</p> <p>⑩ その他</p> <p>秘密会となる報告事項③及び⑨を除く詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
事務局	<p>①平成28年第4回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問 件名・概要について報告します。</p> <p>今回の一般質問では、9人の議員から一般質問がありました。詳細につきましては資料の1ページから13ページにまとめてありますので、私からは質問と答弁の概要のみ報告いたします。</p> <p>高橋議員から、学校開放に係る出入り口の鍵の管理の簡素化について質問がありました。学校の鍵の管理については、学校解放団体と学校とで協議をしてルールを決めて対応していただきたいと回答いたしました。</p> <p>花井議員からは、準要保護世帯への入学準備金の貸し付け、また、修</p>

学旅行費、林間学校費などの実施前支給について質問がありました。これまでそれらの費用は、入学後又は行事実施後に支給していましたが、事前に費用がかかるので支給を早めてほしいという趣旨の質問でした。準要保護の認定時期や会計事務の煩雑化などで難しい面がありますが、準備金については、中学校一年生については来年度から事前支給を実施し、その他の支給については今後研究していくと答弁いたしました。

本田議員からは、給食費未納者に対する法的措置についてと図書館・郷土博物館への指定管理者導入の検討について質問がありました。給食費の未納については、現在の状況について説明を行い、法的措置については未納者に一律に行うものではなく、様々な対策を行っても全く応じようとしめない家庭に対しての最終的な手段として慎重に判断したうえで実施するものであると答弁いたしました。

図書館・郷土博物館への指定管理導入の検討については、市全体の行財政改革プランや公共施設再編方針及び同プランに基づき検討することとなり、先行事例や他市の動向などを調査・研究し、様々な意見を聞きながら検討していくと答弁いたしました。

望月議員からは、戸田東小学校・中学校の建替えについての質問がありました。現在と今後の両校の児童生徒数の推移と平成27年度に行った改修工事の内容、今後の建替え工事金額の資金計画、小中一貫校のメリットとデメリットについて答弁いたしました。

金野議員からは、部活動についてと教職員の負担についての質問がありました。中学校の部活動の現状と教育委員会からの指導と支援について答弁いたしました。

また、教職員の負担については、学校の現状を説明し、市として教職員の負担軽減を図り、子供たちと向き合う時間の確保に向け、文部科学省からの委託事業を受けながら、様々な対応について研究・実践していると答弁いたしました。

手塚議員からは、学校給食費の一括管理による納付改善と水難事故か



	<p>ら身を守る着衣水泳についての質問がありました。給食費につきましては、現在、学校が徴収し市に納入されているが、学校の負担を軽くするために市が一括管理を行ってはどうかという趣旨の質問でした。その場合、市で一括管理するシステムの構築や人材配置、未納対策など様々な課題がありますが、改善について、関係課を含め検討していくと答弁いたしました。</p> <p>また、着衣水泳につきましては、毎年、全小学校で実施しており、今後も安全指導を継続し、水難事故防止に努めていくと答弁いたしました。</p> <p>三浦議員からは、児童生徒の地域でのごみゼロ運動への参加と薬物乱用防止策についての質問がありました。児童生徒の学校内外でのごみゼロ活動や清掃活動の現状について答弁いたしました。</p> <p>また、薬物乱用防止策につきましては、防止教室を全校で毎年実施しているほか、保健等の授業でも児童生徒の発達段階に合わせて指導していると答弁いたしました。</p> <p>石川議員からは、児童生徒が関東大会や全国大会に出場した時の教育委員会からの補助金の拡大についての質問がありました。近年、本市における部活動が活発になり大会にも参加する部が多くなってきているので、児童生徒の活躍を支援できるよう、全体的な執行状況等を見ながら、適切な補助のあり方を検討していくと答弁いたしました。</p> <p>最後に、真木議員からは、プログラミング教育についての質問がありました。プログラミング教育につきましては、次期学習指導要領で導入が検討されていますが、本市では全国に先駆けて、児童生徒の発達段階に応じた様々なプログラミング学習の研究に取り組んでいくと答弁いたしました。</p>
<p>事務局</p>	<p>②中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について報告します。</p> <p>本市では、平成17年度入学の1年生より中学校学校選択制を導入し</p>

	<p>ております。現在、戸田市立中学校では、生徒数や学級数が増加傾向にあり、各中学校の施設の状況を踏まえ、通学区域外の受け入れ定員数に制限を加えて実施しております。</p> <p>今年度の各中学校の受入予定定員数は資料14ページのとおりです。受入定員数が上限数の35人より少ない学校は戸田中学校と笹目中学校の2校です。2校の受入定員数は、戸田中学校が25人、笹目中学校が20人です。</p> <p>今後、各中学校への希望状況や、私立中学校入学予定者数、10月1日現在の平成28年度児童生徒見込数調査等をもとに、各中学校長と協議し、正式な受入定員数を決め、11月1日に周知いたします。正式な定員数を決める際には、可能な限り抽選を回避できるよう配慮してまいりたいと考えております。</p> <p>定員を超えた場合は、抽選となり、11月19日（土）に抽選を行います。その後、補欠者繰上期間を設け、2月20日（月）が最終決定となります。</p> <p>また、戸田東中学校が今後校舎の建替え工事が行われ、解体工事を入れると平成33年度まで工事の影響が生じることから、戸田東中学校が指定校となっている児童の、戸田東中学校以外の学校への希望が増加することも考えられます。申し込み状況を10月20日に周知し、その後10月28日から11月2日まで変更期間を設けておりますが、戸田東中学校が指定校となっている児童の多くが他校を希望した場合、工事期間中に限り、受入予定定員数を35人としている中学校のうち、戸田東中学校に近い喜沢中学校の受入人数枠を広げることも検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>④平成28年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について報告します。</p> <p>10月20日の美女木小学校を皮切りに、今年度はのべ11校が研究委嘱の発表会を開催いたします。研究教科、研究主題等は資料のとおり</p>

	です。
事務局	<p>⑤英語検定3級取得推進事業について報告します。</p> <p>6月10日(金)、市内全中学校の3年生が一斉に英語検定3級受検にチャレンジしました。国が掲げている目標「中学校卒業段階で英語検定3級程度以上50%」の具現化のため、県内初の試みとして英語検定3級取得推進事業を実施いたしました。</p> <p>6月に実施した1次試験では、866名の生徒が受検し、生徒たちは緊張した面持ちでチャレンジしていました。結果は、受検者の30.8%に当たる267名が1次試験を合格しました。その後、面接・英会話形式の2次試験が7月10日(日)に実施されました。結果は、2次受検者の91%に当たる232名が合格となりました。</p> <p>今回の英検3級取得者数に、すでに3級以上を取得している生徒数を加えると、414名が「英語検定3級以上」を取得していることとなります。対象となる生徒は異なりますが、昨年12月調査と比べ、市全体で115名の合格者が増えました。</p> <p>また、惜しくもあと数問正解していれば1次試験を合格できた生徒が218名もおります。そこで、各学校でこの218名を励ましながら再度チャレンジを促すことも始めております。さらに、各学校には今回の結果に基づき、さらなる授業改善を図るように伝えております。</p>
事務局	<p>⑥ゲートキーパー研修会について報告します。</p> <p>福祉部の福祉保健センターとの共催で今年度からゲートキーパー研修会を開始いたしました。この研修は、教員が児童生徒の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な支援や対応をすることができるよう、人材育成をするためのもので、小・中学校の全教員を対象として実施いたします。今年度は、全中学校と3つの小学校の教員を対象に実施し、来年度は9つの小学校の教員を対象に実施する予定です。</p> <p>研修内容は、前半は、ゲートキーパーの必要性や現状と実態、自殺の</p>

	<p>原因等、知識的な研修を行います。後半は、リストカットを行った生徒にどう対応するかロールプレイを行います。役割演技を教員が分担しながら行い、その後に感想等を話し合うグループワークを行います。役割演技ではありますが、実際の体験を伴った活動を行うことで、児童生徒の気持ちに寄り添って思考することができるものと考えております。</p> <p>研修を行った教員のアンケート結果は資料19ページのとおりです。</p> <p>ほとんどの教員がゲートキーパーの趣旨について理解し、ロールプレイは実際に起こっていないなくても、今後のことを考えると、教員にとって必要性のある活動であったことがわかります。また、研修後、自殺対策への意識や技術の向上が見られ、この研修を通して、自殺の予防だけでなく、児童生徒の心に寄り添うことへの意識の向上も図ることができたと考えております。</p>
事務局	<p>⑦子育て講演会の開催について報告します。</p> <p>生涯学習課では、主に小・中学生を持つ親への家庭教育の支援を図るため、今年度も子育て講演会を開催いたします。</p> <p>今年度の子育て講演会は、10月12日（水）の午前10時30分から正午まで、新曽公民館ホールで開催いたします。</p> <p>講演内容は、思春期の子供と親の人間関係に視点を当て、「たたかず 甘やかさず 子育てする方法」と題し、浜谷 典子さんを講師にお招きして開催いたします。講師は、子どもへの暴力防止プログラムのスペシャリストとなって以降、DVを受けた女性の支援や、虐待を防止する研修会・御講演等の活動をされています。</p> <p>対象は、市内小・中学校PTAの皆さんと、9月1日号の広報で市民の方にも参加を呼びかけているところです。</p>
事務局	<p>⑧市制施行50周年記念第26回企画展の開催について報告します。</p> <p>平成28年10月1日（土）から11月27日（日）まで、市制50周年記念「今昔写真帳～戸田市の歩み～」として企画展を開催いたしま</p>

	<p>す。</p> <p>今回の企画展では、戸田市の今までとこれからを考えるきっかけとなることを目的に、市制施行以前の歴史と、施行後の市内の移り変わりについて歴史的公文書や写真などを中心に展示いたします。また、関連事業として、記念講演や子供体験講座も企画しております。</p>
教 育 長	次に⑩その他ですが、事務局より何かございますか。
事 務 局	特になし
教 育 長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教 育 長	報告事項⑤の英検 3 級以上取得者について、全国的な取得率や他の自治体の取得率はどのくらいですか。
事 務 局	全国平均では、3 級以上取得者に加え、3 級程度レベルの者を含んで 36.8%ですので、3 級以上取得者だけで 36.9%の本市生徒の取得率は高いと考えられます。
委 員	受検料の補助は 1 回だけですか。
事 務 局	はい。1～2 年生のうちに 3 級以上を取得する生徒もいるため、早期に通知したりするなど、今後は運用方法を検討したいと考えております。
教 育 長	それでは、他に質問等がないようですので、次に議事に入ります。「議案第 32 号 平成 29 年度当初教職員人事異動の方針について（案）」を事務局より説明願います。
事 務 局	<p>平成 29 年度当初戸田市立小中学校教職員人事異動の方針につきましては、資料 2 ページのとおり、埼玉県教育委員会の「平成 29 年度当初教職員人事異動の方針」及び「平成 29 年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」に基づいて作成いたしました。なお、埼玉県教育委員会の人事異動方針は、資料 3 ページ以降のとおりです。</p> <p>はじめに、埼玉県教育委員会の平成 29 年度当初人事に係る人事異動</p>

方針についてですが、昨年度との変更点が1点ございました。

資料5ページの埼玉県教育委員会の人事異動方針において、基本方針の(6)が新たに加われました。これは、平成28年4月1日から施行された、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、いわゆる女性活躍推進法を受けて追加されたものです。

この埼玉県の方針や細部事項を受け、本市の異動方針を作成しました。戸田市としての方針を明確に示すため、全体で9項目にまとめております。変更点は、9の項目です。県の基本方針に新たに示された項目と同じ内容になります。

今年度、本市における女性校長は4名で割合としては約22%になります。これは、南部管内の約18%、県全体の約14%を上回っております。本市ではこれまでも女性教職員の積極的な登用に努めてまいりましたが、いわゆる女性活躍推進法の趣旨を考慮しながら、女性教職員の積極的な登用・育成を推進することをねらいとして、人事異動の方針に明記するものでございます。

それでは、戸田市の人事異動方針について、資料2ページを御覧ください。

(1)の県の方針と細部事項に基づき、円滑、適正な人事異動を行い、本市学校教育の充実と進展を図るに続き、(2)の教育の機会均等を図るため、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努めること、(3)の配当定員に対して過員を生ずる場合には、調整のため異動を優先すること、(4)教職員は同一校在職10年以内に異動を行うこと。特に7年以上の者は積極的に異動を行うこと、(5)の新規採用教職員については、多様な経験を積ませ、資質の向上を図るため、採用後5年以内に市町村間の異動を行うこと、(6)の同一校在職3年未満の者、産休・育休等を取得中及び休職中の教職員については原則として異動の対象としないこと、(7)の管理職候補者名簿登載者は、職務経験を豊かにするため積極的に行うこと、(8)の再任用者の適切な配置に努めること、(9)女性教職員の

	<p>積極的な登用に努めることといたします。</p> <p>今後、この方針に基づいて、平成29年度当初教職員人事異動に関する事務を進めてまいりますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
教 育 長	<p>今年度新たに項目に追加された女性教職員の積極的な登用につきましては、本市ではこれまでも女性教職員の積極的な登用に努めており、南部管内、県平均を上回っております。</p>
委 員	<p>小学校の英語教科化に伴い、英語教員の増員を県にお願いすることはできないのでしょうか。</p>
教 育 長	<p>特別免許を認めてもらえるようアクションは起こしており、あきらめずに継続していきたいと考えています。今年度から戸田東中、笹目東小で Teach for Japan と連携しているところですが、そのようなシステムを継続して作っていきたいと考えています。</p>
教 育 長	<p>それでは、他に質問等がないようですので打ち切ります。議案第32号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。</p>
委 員	<p>異議なし</p>
教 育 長	<p>異議なしと認め、議案第32号は提案内容のとおり議決いたします。</p>
教 育 長	<p>次に、「議案第33号 戸田市教育委員会における表彰規程について」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>教育委員会における表彰規程について、このたび、現行の2つの表彰規程の改正と、新たな表彰規程の新設を検討いたしました。全体の概要を御説明しますので、資料7ページを御覧ください。</p> <p>まずは、「教育功労者表彰」です。この表彰は、「教職員以外で教育の振興及び発展に貢献した個人又は団体を対象」とする表彰です。これま</p>

でPTA会長や学校評議員、学校応援団などで御活躍された地域の方を表彰しております。このたびは、文言整理のみの改正で内容の変更はございません。

次に、「教職員表彰」です。この表彰は、「市内小・中学校の教職員を対象に文化・体育活動の指導者等、児童生徒の健全育成に多大な貢献をした教職員を対象」とする表彰です。これまで、学校総合体育大会等で優秀な成績を収めたハンドボール部、野球部、卓球部等の顧問の教職員や定年退職を迎える校長先生を表彰しております。

このたびの改正では、教職員個人が対象だったものを、個人だけでなく、教職員で構成されるチームも対象といたしました。改正にいたった理由ですが、これまで何度か御説明しております、中央教育審議会から出された答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」の中に、「学校において、教職員同士や専門スタッフ等との連携・分担を進めていくために、チームとしての取組を教職員表彰の対象として加えることも考えられる。」と教職員表彰制度の改善・充実が示されたことも踏まえ、いち早く取り入れたものです。想定しているチームの一例を申し上げますと、校内のいじめや不登校の問題の解消に寄与した教員や相談員で構成される学校教育相談部会や、児童生徒の学力向上の取組を中心的に進めた学力向上委員会などがあると考えています。

最後に、「教職員奨励表彰」です。この表彰については、今回新設したものであり、先程御説明した学校教育功労者表彰と教職員表彰には該当しないものの、勤勉で優秀な教職員や教職員で構成されているチームを広い観点から幅広く表彰できるものとなっております。昨年度の定例教育委員会におきましても、委員の皆様から「熱心に頑張っている先生を表彰し、応援していきたい」という御意見をいただきましたので、このたび新設した次第です。

具体的な表彰の手続については、他の表彰と同様に行いますが、新設した表彰ですので、手続の流れを簡単に御説明いたします。資料24ページの戸田市教育委員会教職員奨励表彰規程（案）を御覧ください。



	<p>まず、第4条にありますように、校長又は教育委員会各課の課長は、表彰対象者がいる場合には、教職員奨励表彰内申書を用いて教育委員会に内申をいたします。その後、第5条のとおり、教育長、教育部長、教育政策室長並びに市内小学校及び中学校の校長の代表を委員とする表彰審査委員会を開催し、被表彰者の審査を行います。審査の最終段階として、教育委員会にて委員の皆様には被表彰者の御審議、決定を行っていただき、表彰する流れとなっております。</p> <p>また、対象となる教職員ですが、資料28ページの奨励表彰規程第2条の運用基準を御覧ください。①～⑤の項目を示しておりますが、広い観点から多くの教職員を表彰できるものとなっております。</p> <p>なお、今後のスケジュールですが、本日議決後、学校へは9月29日の校長会議で周知いたします。その後、学校から提出された内申書について、表彰審査委員会にて審査し、教育委員の皆様には、12月の定例会で御審議いただく予定です。決定後、年明けには表彰式を開催いたします。</p> <p>御審議の程、よろしくお願いいたします。</p>
教育長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委員	チームとして表彰するというのは、他の自治体にはないもので、学校の意欲もわくのではないのでしょうか。
教育長	それでは、特に質問等がないようですので打ち切ります。議案第33号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委員	異議なし
教育長	異議なしと認め、議案第33号は提案内容のとおり議決いたします。
教育長	次に、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。

事務局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、10月25日（火）午前9時からの開催について、お伺いたします。
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事務局	特になし
教育長	来月の教育委員提案のテーマについて委員から何かございますか。
委員	先日、ミライシードを使った教員夏季研修に私たちも参加させていただきました。とても画期的で、これからの時代に必要な授業・研修だと感じました。この他にも、様々な研修を実施したとのことですが、その結果やミライシード導入の成果についても報告してください。
事務局	承知いたしました。
委員	今年度、5年間の第3次生涯学習推進計画の期間が終了すると思いますが、次期計画の策定進捗状況について報告してください。
事務局	承知いたしました。
教育長	それでは、「報告事項③及び報告事項⑨」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。
教育長	<b>【関係者以外の退席を確認後】</b> それでは、「報告事項③ 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について」を事務局より報告願います。
事務局	4月19日に実施されました全国学力・学習状況調査の結果概要がま

	<p>とりましたので報告いたします。対象者は小学校6年と中学校3年の児童生徒です。</p> <p>小学校では、国語A・B、算数A・Bともに全国の平均正答率を上回っております。また、中学校においても、国語A・B、数学A・Bとも全国の平均正答率を上回っております。</p> <p>さらに、直近のデータである平成27年度調査と比較しても、異なる集団ではありますが、伸びていることが分かります。</p> <p>先日は、「学力向上対策会議」として、教務主任や研究主任などの教員を集め、活発な議論を行いました。今後、校長、教頭対象の「学力向上対策会議」も実施いたします。</p> <p>県内トップクラスという結果に甘んじることなく、今後もとだっ子の学力向上を図ってまいります。</p>
教 育 長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	県内トップクラスという結果が出た理由は何だと考えていますか。
事 務 局	各小・中学校における学力向上の取組やアクティブラーニングなどの新しい学びを促す取組の成果であると考えられますが、何らかのエビデンスを示したいと考えており、研究を開始したところです。
	<b>【報告事項⑨を報告し、閉会】</b>